

V-RESASでみる 岐阜県への「旅行」について

V-RESAS(バイ-リーサス)とは

新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響を適時適切に把握するため、2020年6月より内閣府地方創生推進室と内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局から、「V-RESAS」が提供されています。

「V」は「Vital Signs of Economy(経済のバイタルサイン)」からきています。データの更新頻度が

1週間～1か月と高く、地域の現状を素早く把握することができるシステムです。インターネットにつながれば誰でも利用できるため、地方公共団体だけでなく企業・個人事業主の方にも有用なシステムです。

今回はV-RESASを利用して、岐阜県内への旅行について分析してみましょう。

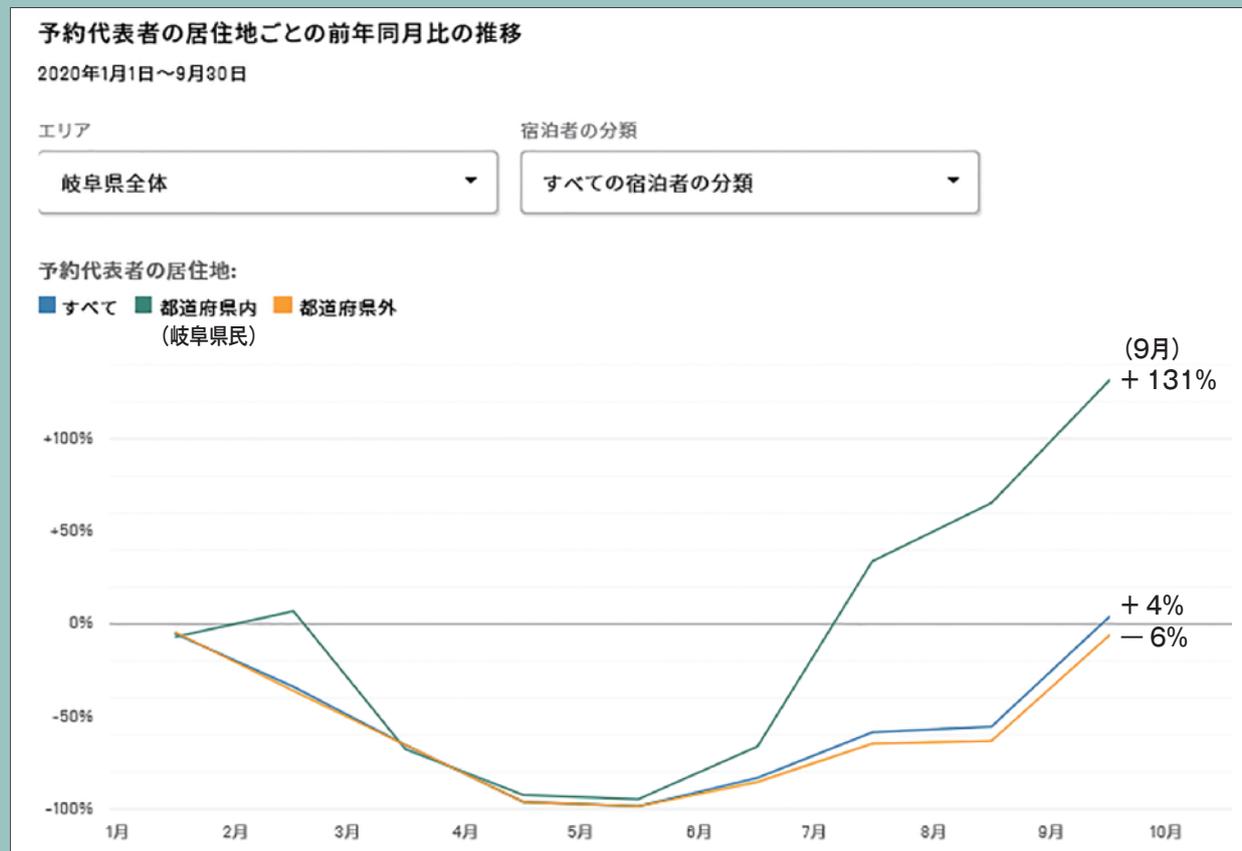
宿泊

【図1】は予約代表者の居住地ごとの宿泊者数を、宿泊開始日ベースの前年同月比増減率で表しています。

緊急事態宣言が発出されていた4～5月はいずれも約▲100%となり、宿泊者がほほいない状況に陥りました。その後、岐阜県民の県内での宿泊が先行し

【図1】

※ V-RESASのデータならびに機能については2020年11月11日現在のもの。



【データ概要】

観光予約プラットフォームの宿泊データを可視化しています。1億3000万泊以上(2019年5月時点)のデータについて、宿泊者数データを都道府県及びエリア単位・月単位及び週単位で提供しています。データは、旅行会社店頭、予約サイト、外国語予約サイトなどから匿名加工されたものを収集(提供元は非公開)しています。

【図1-3 出典】

V-RESAS(観光予約プラットフォーム推進協議会(事務局:日本観光振興協会))をもとに十六総合研究所にて作成



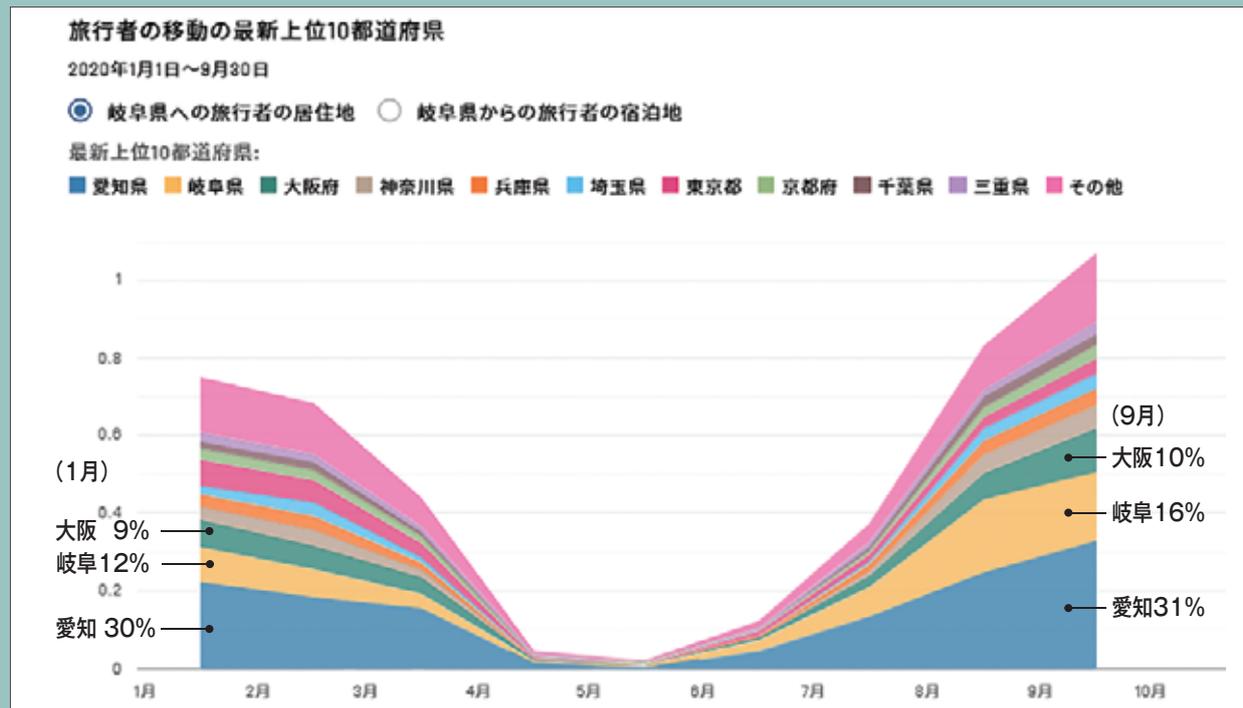
て回復し、7月には前年比プラスに転じ、9月に至っては+131%となりました。一方、県外からの宿泊者は7月頃から回復し、9月には前年同期並みの水準まで戻ってきています。

岐阜県への宿泊者がどこから来たのか、更に詳

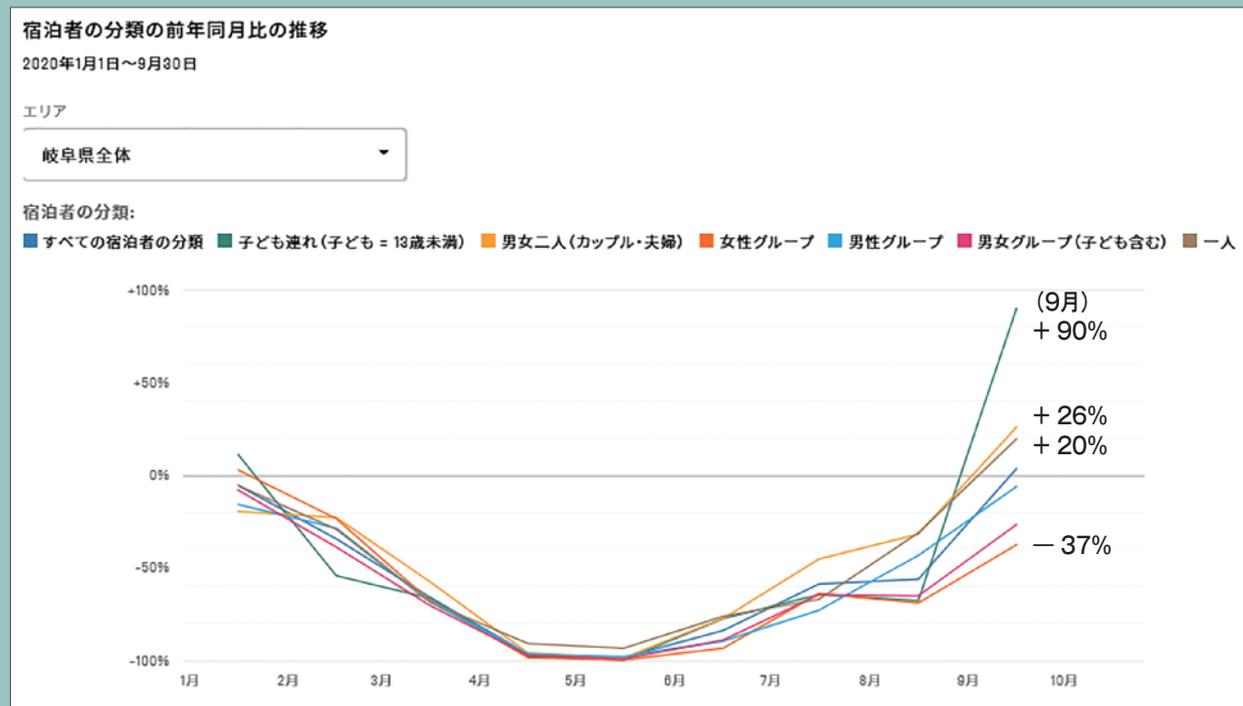
しい居住地をみてみましょう【図2】。9月の1位は愛知県で31%と全体の約3分の1を占めました。次いで岐阜県が16%となり、1月の12%と比較してシェアを伸ばしました。コロナ禍では県内や近県からの宿泊者のインパクトが大きいと考えられます。

【図2】

※ V-RESASのデータならびに機能については2020年11月11日現在のもの。



【図3】





宿泊者のグループ分類別にみると、9月には子ども連れ(子供=13歳未満)が+90%と大きく伸びています【図3】。7月22日にGo To トラベルキャンペーンが始まったものの7月31日～9月1日までは岐阜県独自の第2波非常事態宣言が発出されていました。夏休み期間中は家族旅行を自粛したとみら

れ、解除後の9月に増加したと考えられます。

次いで男女二人(カップル・夫婦)(+26%)、一人(+20%)となっています。他のグループは前年同時期に比べて少なくなっており、特に女性グループの戻りは弱く、▲37%となっています。

人流 ～滞在人口の動向～

●表1 新型コロナウイルス感染ならびにGo To トラベル関連の出来事・イベント

日	グラフ内解説	出来事・イベント
4月7日		7都府県(東京・神奈川・千葉・埼玉・大阪・兵庫・福岡)に緊急事態宣言発出
4月10日	①	岐阜県独自の非常事態宣言発出
4月16日	②	全都道府県に緊急事態宣言発出(岐阜県は「特定警戒都道府県」に指定)
4月18日～5月6日		岐阜県が事業者へ休業等要請(ホテル・旅館は集会の用に供する部分に限る)
5月14日	②	39県で緊急事態宣言解除(岐阜県含む)、岐阜県非常事態宣言解除
5月21日		大阪・京都・兵庫で緊急事態宣言解除
5月25日		東京・神奈川・千葉・埼玉・北海道で緊急事態宣言解除(全国で解除)
6月16日～9月30日	③	【第1弾】安心ステイ～ほっと一息、ぎふの旅 宿泊キャンペーン(岐阜県民が県内に宿泊時割引)
7月1日～10月31日	④	【第2弾】安心ステイ～ほっと一息、ぎふの旅 宿泊キャンペーン(岐阜・愛知・三重県民が岐阜県内に宿泊時割引)
7月22日	⑤	Go To トラベルスタート(東京都発着を除く)
7月31日～9月1日	⑥	県独自の第2波非常事態宣言
9月23日～11月15日	⑦	【第3弾】安心ステイ～ほっと一息、ぎふの旅 宿泊キャンペーン(岐阜県民が県内に宿泊時割引)
10月1日		Go To トラベル 東京都発着旅行が追加

人流のグラフからも宿泊動向をみてみましょう。【図4】は都道府県の滞在人口の動向について、前年同週比増減率を表しています。週次データのため、より細かな動きが読み取れます。これは岐阜県全体の0時～6時のグラフです。深夜の時間帯ですので、宿泊者が多く含まれると考えられます(市区町村内は主に居住者)。

- ① 4月10日に岐阜県独自の非常事態宣言が発出される
- ② 4月16日に緊急事態宣言が発出され、県内外の滞在人口が激減する。5月14日の39県(岐阜県を含む)解除後、都道府県内の滞在人口が増加

- ③ 岐阜県が独自のキャンペーン(第1弾)を開始。岐阜県民が県内で宿泊する際の宿泊料を一部補助
- ④ 岐阜県の第2弾キャンペーンで、岐阜県民に加え愛知・三重県民も補助の対象とする
- ⑤ Go To トラベルで県外からの滞在人口が増加。この週は4連休あり
- ⑥ 岐阜県独自の第2波非常事態宣言が発出。7月31日の宣言で、知事がお盆休みを念頭に、県をまたぐ帰省や旅行を慎重に判断するよう求めた。他の都道府県でも同様の要請をする地域があり、お盆の週の県外からの減少はこれによるものと考えられる

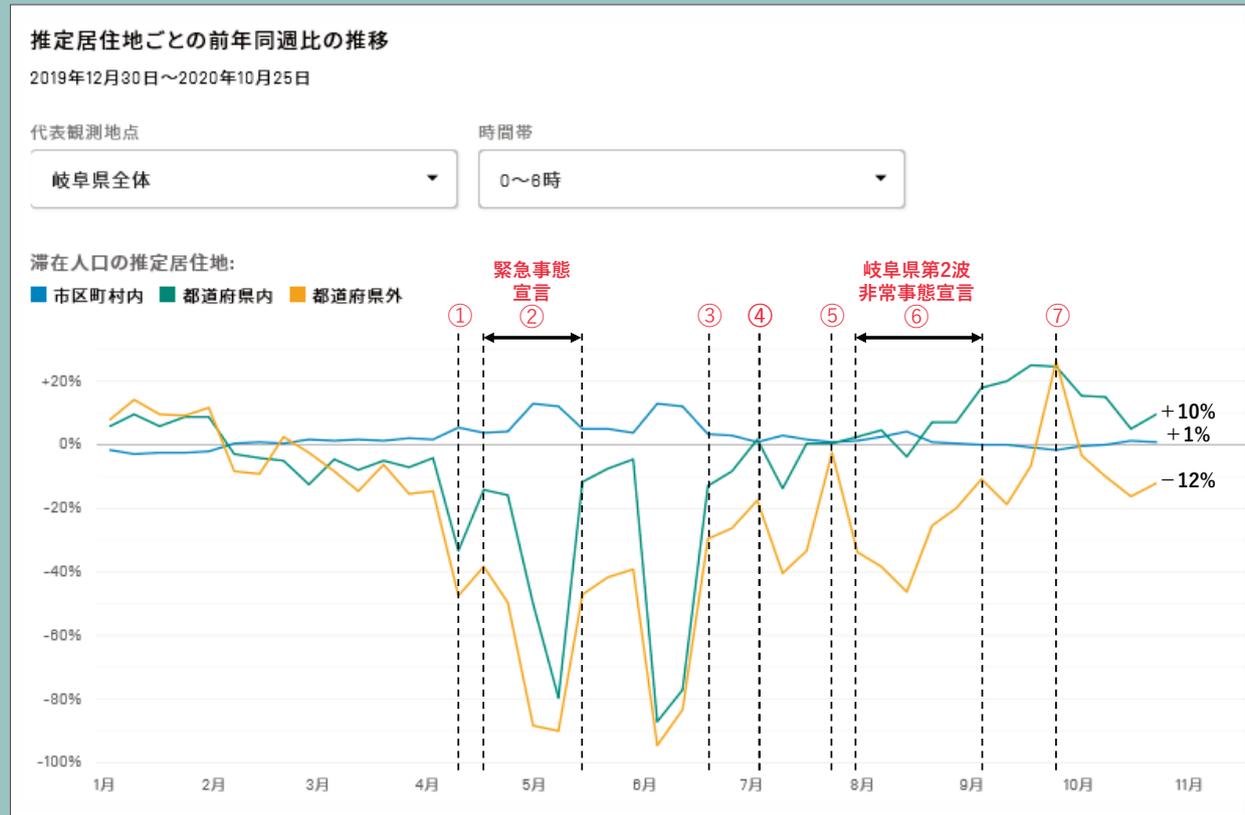


⑦ 岐阜県の第3弾キャンペーン。岐阜県民の県内宿泊を補助するもの。この週の県外からの増加は4連休の影響とみられる

このように人流からは、新型コロナウイルス感染拡大で滞在人口が大きく落ち込んだ後、岐阜県のキャンペーン、Go To トラベル、連休などの影響を受けながら、増加傾向にあることが読み取れます。

【図4】

※ V-RESASのデータならびに機能については2020年11月11日現在のもの。



【データ概要】
スマートフォンの特定のアプリケーションから、ユーザーの同意の上取得したGPSデータを昼夜間人口をベースに人口統計化したデータ

【出典】
V-RESAS (株式会社Agoopの「流動人口データ」(GPSデータを元に換算処理を施した人口換算値)を元に集計)をもとに十六総合研究所にて作成

市区町村内:当該市区町村に滞在している人口のうち、推計居住地が同じ市区町村である人口
 都道府県内:当該市区町村に滞在している人口のうち、推計居住地が同じ都道府県内の他の市区町村である人口
 都道府県外:当該市区町村に滞在している人口のうち、推計居住地が他の都道府県である人口



Go To トラベル
岐阜
GIFU



雇用

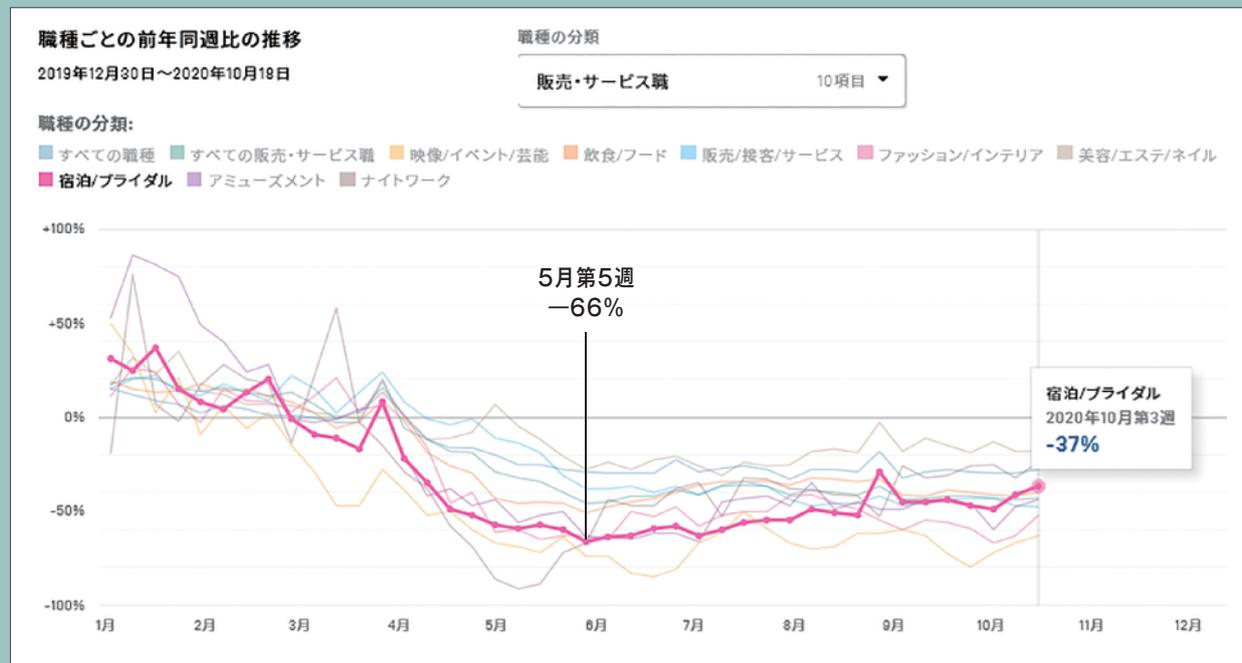
雇用のグラフ【図5】は求人情報数を職種別に前年同週比増減率で表しています。

宿泊／ブライダルの求人数は4月第1週から急速に減少し、5月第5週に▲66%となりました。コロナ禍で旅行や結婚式を取り止め・延期する人が多くいたとみられ、更にはインバウンドの旅行客が激減した影響で、宿泊／ブライダル業界は大変厳しい状況に陥りました。その後は緩やかに回復しています

が、10月第3週で▲37%と、まだまだ厳しい状況が続いています。とはいえ、販売・サービス業のカテゴリ内ではすべての業種がマイナスとなっており、映像／イベント／芸能(▲63%)、アミューズメント(▲44%)など、コロナの影響を強く受けた業界の雇用は低迷しています。また、すべてのカテゴリをみても、建設／土木／エネルギーを除き、10月第3週はマイナスとなっています。

【図5】

※ V-RESASのデータならびに機能については2020年11月11日現在のもの。



【データ概要】

「ゴースト」が保有する分析用求人ビッグデータ提供サービス[HRogリストforアカデミア]よりWeb上の複数の求人情報サイトから収集した求人情報数を可視化しています。

【出典】

V-RESAS(株式会社ゴースト HRogリストforアカデミアより提供)をもとに十六総合研究所にて作成





興味・関心

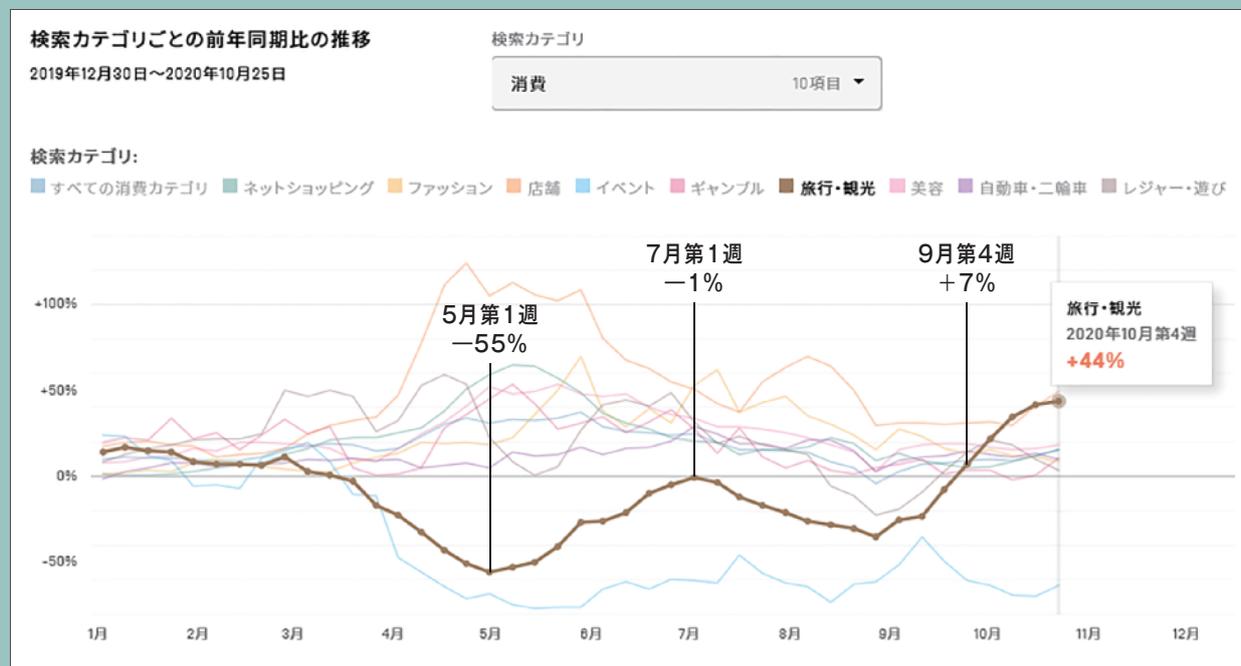
興味・関心のグラフ【図6】では、インターネットのキーワードの検索数をもとに人々の興味・関心を前年同期比増減率で表しています。

旅行・観光関連の検索数は、5月第1週の▲55%を底に、Go To トラベル開始前の7月第1週に▲1%まで回復、その後緩やかに下降するも、9月第4週に+7%と前年同期比プラスに転じ、10月第4週には

+44%となりました。キャンペーン等により旅行・観光への抵抗感が和らぎ、関心が高まっていることがうかがえます。こういった興味・関心事についての検索は、実際の消費と比べて少し早く変化が出る傾向がありますので、この先旅行者数が増加する可能性があります。

【図6】

※ V-RESASのデータならびに機能については2020年11月11日現在のもの。



【データ概要】

Yahoo!検索で検索された検索ワードを人工知能(AI)技術を用いてカテゴリライズして統計化したデータ

【出典】

V-RESAS(ヤフー・データソリューション)をもとに十六総合研究所にて作成

終わりに

岐阜県の旅行者数はGo To トラベルや地域独自のキャンペーンにより増加しつつあると言えるでしょう。しかしながら、これを執筆している11月11日時点でも感染者がゼロになることはなく、ワクチンや治療薬などが開発され、広くゆきわたるようになるまでは、withコロナの生活が当面続くと考えられます。あるいは状況が急変することも考えられます。引き続き、V-RESASを活用し、「経済のバイタルサイン」に注視しながら、適宜対策を行う必要があるでしょう。

V-RESASでは、今回紹介したものよりも細かな分類で分析できるものもあります。例えば、人流では主要な駅や、7種類の時間帯でもデータをみることが可能です。更にこれ以外にも、消費・飲食・イベントなどのデータがリリースされ、今後も進化を続けると考えられます。V-RESASのデータは、コロナ禍における地方公共団体の政策立案や、企業の経営判断・戦略策定において大きな役割を果たすと考えます。

(研究員 高木 安希子)